



リラックスした表情で、子どもとのふれあいを楽しむ参加者

# 01 つながる

午 前10時。保健福祉センターの一室に、赤ちゃんを連れてママたちが集まって来た。中には首がすわったばかりの子もいる。畳敷きの部屋には20組の親子が5つのテーブルに分かれて座った。少し緊張した面持ちだ。

この日は、今年スタートした「はぐはぐ教室」の第1回目。「はぐはぐ教室」は生後1カ月から6カ月までの子を持つ親を対象に、子どもとのふれあいや交流を中心とした教室だ。全3回の教室を年に4度開催する。担当課職員の話では、申込開始後すぐに定員がいっぱいになったとのこと。

お互いの簡単な自己紹介の後、ふれあい遊びが始まった。歌に合わせて、子どもの身体に両手でやさしく触れる。撫でたり、



くすぐったり、抱きしめたり、キスをする。初めは少し硬かったママたちの表情も柔らかくなり、部屋は次第に温かい雰囲気になりました。

6カ月になる娘と一緒に参加した根本さんは「普段はほかのお母さんと会う機会も少ない。同じくらいの月齢の子たちが集まるので楽しそうと思って」と参加の動機を話してくれた。

ふれあい遊びの後は、グループごとに「最近の楽しかったこと」や「家族で行ってみたいところ」などをテーマに、参加者同士の交流の時間となった。



せた。

村上さんも「同じ月齢の子が集まっていて、離乳食の話で盛り上がった」と喜んだ。

教室の最後には連絡先を交換する姿も見られた。参加したママたちは終始笑みを浮かべ、同じ気持ちに分かちあえる仲間と「つながることの喜びが溢れていた。

ともに5カ月で、同じテーブルになった齊藤さんと村上さん。齊藤さんは「まだ引越してきたばかりだが、参加してみたら楽しかった。お母さん同士のふれあいができてよかった」と充実した表情を見せた。

4カ月になる息子を抱いて参加した磯村さんは「同年代のママ友ができた。息抜きにもなった」と笑顔を見せてくれた。子どもの月齢が

